

製品名: 切断型カスパーゼ 3 p17 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03868**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 32 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP3
別名	CASP3; CPP32; Caspase-3; CASP-3; Apopain; Cysteine protease CPP32; CPP-32; Protein Yama; SREBP cleavage activity 1; SCA-1
遺伝子 ID	836
SwissProt ID	P42574
免疫原	ヒトカスパーゼ 3 の組み換えタンパク質

背景

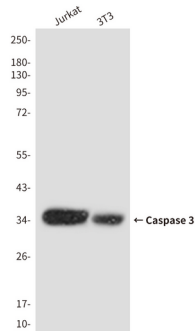
カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性化プロ酵素

として存在し、保存されたアスパラギン酸残基におけるタンパク質分解処理を受けて大小 2つのサブユニットを形成し、これらが二量体化して活性酵素を形成します。

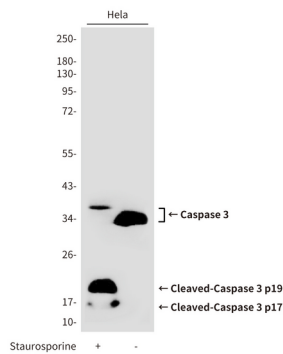
研究分野

細胞生物学

画像データ



Cleaved-Caspase3 p17 抗体を使用した、Jurkat および 3T3 溶解物中の Cleaved-Caspase3 のウェスタンプロット分析。



Cleaved-Caspase3 p17 抗体 (上) または β Actin (8F10) 抗体 (下) を使用した、未処理またはスタウロスポリン (1 μ M、3 時間) 処理した Jurkat 細胞における Cleaved-Caspase 3 p17 のウェスタンプロット分析。